

【米田主宰の俳句】

寒 卵

米田規子

抜け道の臘梅香る直売所
山笑う削ることばと足す言葉
味噌汁にポンと滋養の寒卵
平常心どこかに忘れ赤いマフラ―
電子辞書閉じて開いて冬深む
しろじろと枯野の先の大病院
待春の手紙にそつと胸の内
坂道をすいすい漕いで春隣
春来る三枚重ねのパンケーキ
三寒四温ペン胼胝のいとおしく